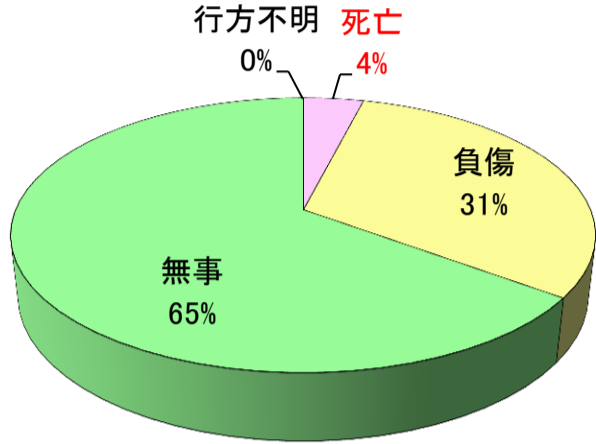


# 山岳遭難発生状況(平成27年)

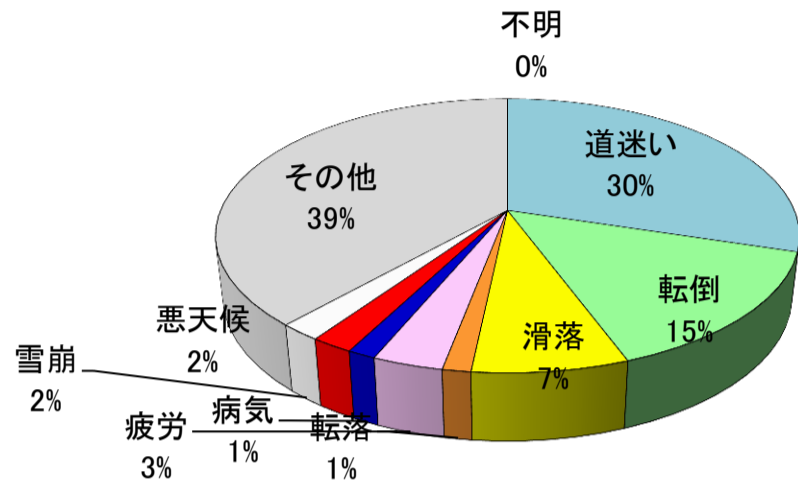
平成27年12月末現在

分類	発生件数	遭難者数	遭難者の死傷等別(人数)				遭難原因別(人数)										
			死亡	負傷	無事	行方不明	道迷い	転倒	滑落	転落	疲労	病気	悪天候	雪崩	その他	不明	合計
山岳遭難 (山菜採り遭難を除く)	100	151	6	47	98	0	45	22	11	2	5	2	3	3	58	0	151
うちバックカントリースキー遭難	25	34	5	15	32	0	27	6		2		1	1	1	14		52
うちスキー	12	21	2	13	30	0	25	4		2		1			13		45

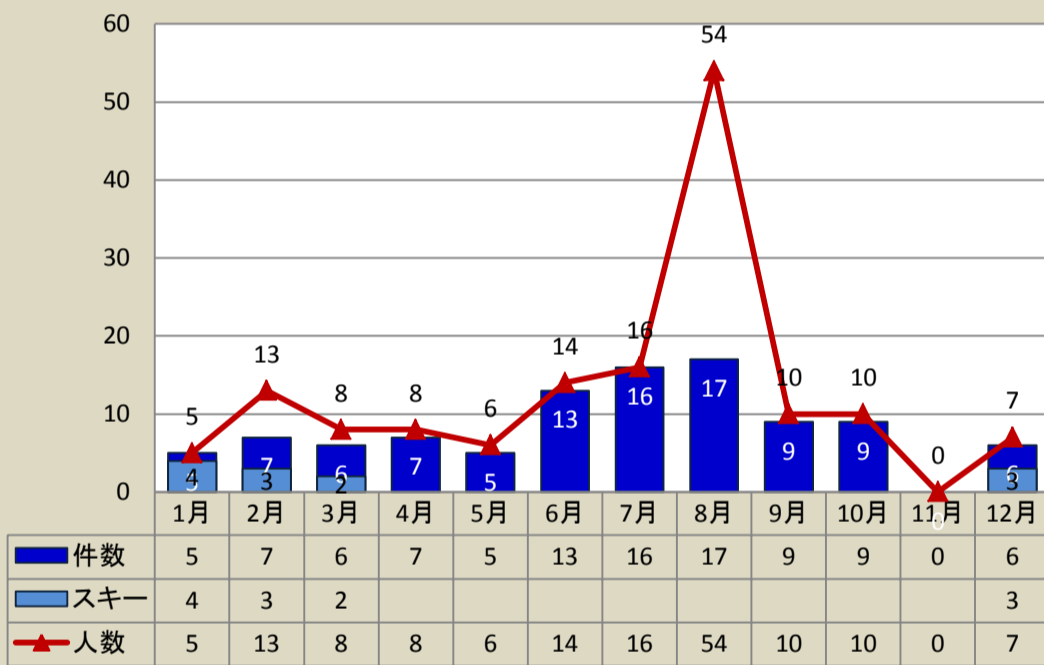
山岳遭難者の死傷等別割合(人数)



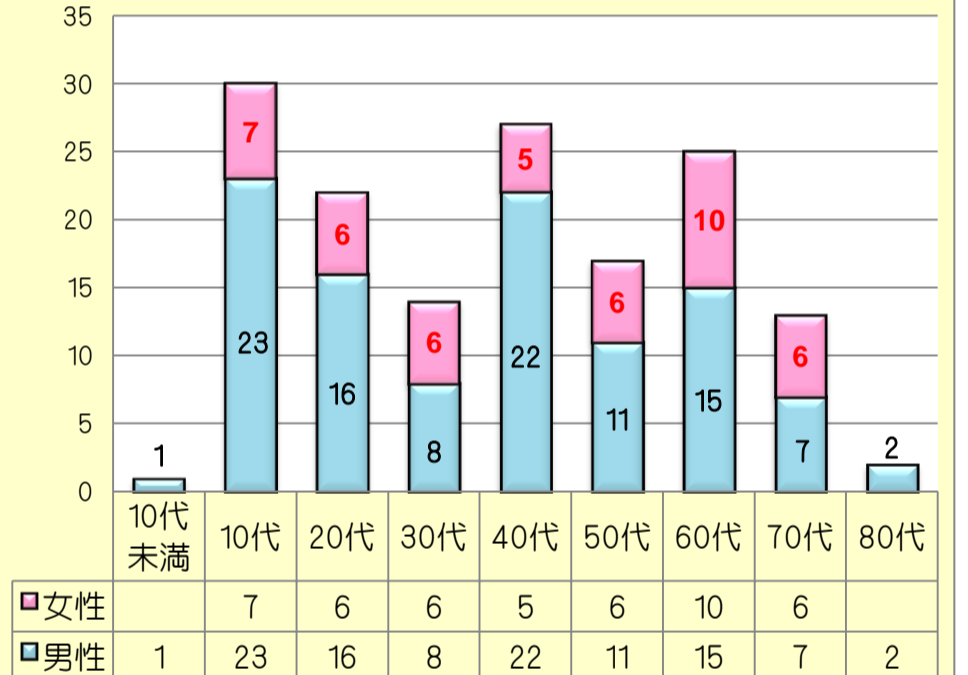
遭難原因別割合(人数)



月別遭難発生状況(件数・人数)



遭難者の年齢層別(男女別)人数



- この統計には山菜採り遭難が含まれていません。
- 平成26年まではスキー場内からコース管理区域外に出て遭難した事案を山岳遭難統計に含めていませんでしたが、平成27年から同事案を山岳遭難統計に含めています。  
近年のいわゆるバックカントリースキー(スノーボードを含む。)ブームに伴い、警察ではスキー場コース外(管理区域外)の山岳地において、スキーやスノーボードなどによる滑降を目的に入山し、山中において遭難した事案をバックカントリースキー遭難として山岳遭難統計に計上しています。
- 番号欄の数字が青色太字はバックカントリースキー遭難、背景色が水色はスキー場コース内から管理区域外に出て遭難した事案等、登山行為を伴わないものです。

番号	発生日	曜日	山岳名、標高、市町村名	遭難者							事案概要	
				構成人数	遭難者数	居住地	性別	年齢	職業	態様		原因
1	1月5日	月	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	3	1	オーストラリア	男	40代	不詳	負傷	転倒	遭難者は、家族3人でニセコアンヌプリ国際スキー場を訪れ、午後1時頃、同スキー場西側のコース区域外(通称大沢)をスキーで滑走中、深雪に足をとられて自己転倒し、右足を負傷、遭難者と一緒にいた家族がスキーパトロール隊に通報(※スキーパトロール隊が救助)
2	1月10日	土	仁頃山(にころやま) 標高829m (北見市、常呂郡佐呂間町)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	疲労	遭難者は、午前11時頃、富里キャンプ場駐車場からつぼ足で単独入山し、山頂に登頂後、下山を開始したが、7合目付近から足がつり始め、3合目付近で両足がつり行動不能となり、同日午後2時頃、消防に通報し、救助要請(※地元消防団がスノーモービルで救助)
3	1月23日	金	竹山(たけやま) 標高940m (虻田郡留寿都村)	4	1	カナダ	男	40代	その他	負傷	雪崩	遭難者は、バックカントリースキーツアー(ガイド2人、客2人)のため午前9時頃にスノーモービルで入山、同日午後0時30分頃、滑走斜面の安全性を確認するため、斜面の雪を切る作業を実施中に雪崩が発生し、ガイド1人が雪崩に巻き込まれて左足を負傷、消防に通報し、救助要請(※ツアー会社の同僚が救助)
4	1月24日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	7	1	オーストラリア	男	20代	会社員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、友人6人とニセコアンヌプリ国際スキー場を訪れ、午前8時30分頃、同スキー場のコース区域外をスノーボードで滑走中、立木に衝突して左足を負傷、スキーパトロール隊に通報し、救助要請(※スキーパトロール隊が救助)

5	1月25日	日	長峰岳(ながみねだけ) 標高1080m (余市郡赤井川村)	1	1	北海道	男	40代	会社役員	無事	道迷い	遭難者は、キロロスノーワールドスキー場を訪れ、午前11時頃、同スキー場の長峰コースからコース区域外に出てスキーで滑走中、現在地が分からなくなりスキー場に戻ることができず、同日午後0時頃、家族を介してスキーパトロール隊に通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
6	2月6日	金	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	1	1	スウェーデン	男	40代	不詳	負傷	滑落	遭難者は、午後0時5分頃、旭岳山頂付近からスキーで滑降中、くぼみに足をとられて転倒し、旭岳6合目付近の地獄谷(標高1840メートル付近)まで滑落して顔面及び右足を負傷、付近にいた登山者が警察署に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
7	2月8日	日	芽室岳(めむろだけ) 標高1754m (上川郡清水町)	1	1	北海道	女	50代	公務員	負傷	道迷い	遭難者は、2月7日に清水町字羽帯から山スキーで入山し、芽室岳山小屋に宿泊。翌8日午後1時55分頃、芽室岳山頂から下山中、吹雪による視界不良で下山方向を見失い、芽室岳西側の標高1700メートル付近で救助要請(※2月11日午後、芽室岳から西方向へ約8キロメートル離れたパンケヌーシ川沿いの林道上で道警ヘリが遭難者を発見、救助) 負傷程度～右手の
8	2月10日	火	ポン山 標高444m (利尻郡利尻富士町)	11	1	東京都	男	30代	会社員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、ポン山におけるバックカントリーツアー(ガイド2人、客9人)に参加し、午後2時20分頃、ポン山北側斜面(標高約350メートル付近)をスキーで滑降中、スキー操作を誤り立木に衝突して右大腿部を負傷し、ツアーガイドに救助要請(※救助要請を受けた地元ガイドがスノーモービルで救助)
9	2月11日	水	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	5	1	北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	友人4人とサッポロテイネオリンピックゾーンスキー場を訪れ、午後3時10分頃、パノラマ1号リフト上部からスキー場コース区域外に入り込みスキーで滑走中、グレンデの方向を見失い、消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリが発見、救助)
10	2月12日	木	尻別岳(しりべつだけ) 標高1107m (虻田郡喜茂別町)	3	1	カナダ	女	20代	会社員	負傷	雪崩	遭難者は、午後2時頃、尻別岳2合目(標高約550メートル)北西斜面を遭難者が先頭でスキー滑降中、後方からスキーで滑降してきた友人2人が雪崩(幅約75メートル、長さ約300メートル、厚さ約0.75メートル)を引き起こし、遭難者が巻き込まれて腰部を負傷(※現場付近にいたヘリスキーのツアーガイドが遭難者を
11	2月16日	月	長峰岳(ながみねだけ) 標高1080m (余市郡赤井川村)	2	1	大阪府	男	30代	会社員	無事	転落	遭難者は、友人と2人でキロロスノーワールドスキー場を訪れ、午後3時頃、長峰岳山頂付近から南側斜面のスキー場コース区域外に入り込みスノーボードで滑走中、標高約830メートルの朝里沢川で高さ約6メートルの雪穴に転落したもの(※友人が110番通報し、道警山岳遭難救助隊が発見、救助)
12	2月28日	土	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市、余市郡赤井川村)	7	7	北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	遭難者7人は、午後3時頃、札幌国際スキー場ウッディーコースの西側コース外をスキーで滑走中、スキー場のグレンデ方向を見失い、右股沢川の沢筋に迷い込み自力で戻れなくなり、同日午後4時10分頃、消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリが発見、救助)
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
13	3月1日	日	余市岳(よいちだけ) 標高1488m (札幌市南区、余市郡赤井川村)	7	3	北海道	男	40代	自営業	無事	悪天候	遭難者3人は、友人4人とキロロスノーワールドスキー場からスノーモービル2台で余市岳北東側斜面に移動してスキーを始めたが、正午頃から天候が悪化したため、先に友人4人がスノーモービルで下山し、再度、スノーモービルで遭難者3人を迎えに行く予定だったが、吹雪による視界不良のため迎えに行くことができず、遭難者3人は標高1270メートル付近の雪原上に雪洞を作成し、同所で二晩ビバーク。(※3月3日午前7時25分頃、捜索中の道警山岳遭難救助隊及び陸上自衛隊捜索部隊が遭難者3人を発見、救助)
						北海道	男	40代	会社役員	無事	悪天候	
						奈良県	男	40代	公務員	無事	悪天候	
14	3月7日	土	室蘭岳(むろらんだけ) 標高911m (室蘭市、登別市)	1	1	北海道	男	50代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、午前10時20分頃、白鳥ヒュッテから長靴を履いて西尾根コースを登り、室蘭岳山頂から南尾根コース(夏道コース)を下山中、濃霧のため視界不良となり、雪面に残されていた他の登山者の足跡を頼りに下ったが、途中で足跡が不明瞭となり、山頂から南東側の鷲別川方向へ迷い込み、同日午後4時40分頃、110番通報し、救助要請(※室蘭市消防署山岳救助隊が発見、救助)
15	3月11日	水	909m峰 標高909m (余市郡赤井川村)	1	1	神奈川県	男	40代	会社役員	死亡	雪崩	遭難者は、スキーツアーに参加し、キロロスノーワールドスキー場を訪れていたが、家族に「裏山に行く」と連絡を入れた後、行方不明となる。同年4月19日、遭難者を捜索していた友人が、赤井川村の通称909m峰北側林道脇の斜面で、体の一部が露出して雪の中に埋没していた遭難者を発見。現場の状況などからスキー滑走中に雪崩に巻き込まれたとみられ、死因は窒息死
16	3月12日	木	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	5	1	中国	男	50代	会社員	無事	滑落	遭難者は、友人等と5人でニセコグランヒラフスキー場を訪れ、スーパーコースをスノーボードで滑走中、積雪にスノーボードをとられて制御不能となり、通称「春の滝」の斜面に滑落し、同日午後4時30分頃、スキーパトロール隊に救助要請(※スキーパトロール隊が発見、救助)
17	3月15日	日	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	1	1	北海道	男	50代	公務員	無事	道迷い	遭難者は、午後0時頃、五色温泉からスキーを履いてニセコアンヌプリに入山し、同日午後3時30分頃に山頂に到着、同日午後4時10分頃に下山を開始したが、天候が急変して吹雪(ホワイトアウト)となり、視界不良のため下山方向を見失い、同日午後6時20分頃、消防に通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が発見、救助)

18	3月17日	火	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	1	北海道	女	70代	無職	負傷	滑落	遭難者は、午前10時20分頃、手稲山平和の滝コース登山口から長靴を履いて入山し、同日午後1時30分頃に山頂に到着、同日午後2時30分頃に下山を開始したが、同日午後3時10分頃、手稲山平和の滝コース標高370メートル付近を下山中、足を滑らせて滑落し、右足首を負傷、同日午後5時20分頃、消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリが発見、地上消防隊員が救助)
19	4月1日	水	無意根山(むいねやま) 標高1464m (札幌市南区、虻田郡京極町)	5	1	北海道	男	20代	大学生	負傷	転倒	遭難者は、5人パーティーで札幌市南区定山溪の薄別コース登山口から入山したが、同日午後0時10分頃、無意根山東側斜面(標高1080メートル付近)をスキーで滑走中、雪面に足を取られてバランスを崩し転倒、右足を負傷、同日午後0時45分頃、110番通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
20	4月7日	火	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川郡上川町)	1	1	北海道	男	60代	会社役員	死亡	滑落	遭難者は、午前10時頃、黒岳7合目リフト終点から山スキーで入山したが、下山予定時刻の午後1時を過ぎても下山しないため、同日午後4時30分頃、会社関係者が層雲峡駐在所に連絡、さらに会社関係者が山中を捜索したところ、同日午後4時45分頃、黒岳7合目から山頂方向へ約250メートル登った積雪斜面上で倒れている遭難者(脈、呼吸なし)を発見、現場の状況から斜面を滑落して立木に衝突し、腰部を負傷して身動きがとれず低体温症により凍死したとみられる(※道警山岳遭難救助隊等が遭難者を搬送)
21	4月12日	日	余別岳(よべつだけ) 標高1298m (積丹郡積丹町)	3	1	北海道	女	30代	会社員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、午前8時頃、余別岳でスノーボードをするために友人2人と3人で入山し、同日午後2時40分頃、余別岳北側斜面標高250メートル付近の樹林帯の中をスノーボードで滑走中、小回りターンができずに立木に衝突し、腰部を負傷、同日午後2時50分頃、消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
22	4月19日	日	札幌岳(さっぽろだけ) 標高1293m (札幌市南区)	2	2	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者2人は、午前8時10分頃、冷水コース登山口からつぼ足で入山し、同日午後0時35分頃に札幌岳山頂から下山を開始したが、登りのコースよりも西方向へ下山したため冷水コースに戻れず下山途中で道に迷い、同日午後8時頃、消防に通報し、救助要請(※札幌市南消防署山岳救助隊が札幌岳山頂から西方向約3キロメートル離れた林道上で遭難者を見、救助)
						北海道	男	50代	公務員	無事	道迷い	
23	4月26日	日	漁岳(いざりだけ) 標高1318m (札幌市南区、千歳市、恵庭市)	1	1	北海道	男	80代	無職	負傷	転倒	遭難者は、漁岳林道から漁岳に山スキーで入山したが、同日午後3時30分頃、漁岳東側斜面(標高620メートル付近)をスキーで滑走中、足元の雪面が突然動き出したためバランスを崩して転倒し、顔面及び右足、背部等を負傷、家族を介して110番通報し、救助要請(※道警航空隊ヘリが発見、救助)
24	4月27日	月	円山(まるやま) 標高225m (札幌市中央区)	2	1	北海道	女	60代	無職	無事	病気 (脳疾患)	遭難者は、午後1時30分頃、円山登山口(八十八ヶ所入口)から友人と2人で入山し、同日午後2時10分頃、円山山頂に到着したが、山頂にある岩に腰掛けたところ突然意識を失い、同伴者が消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
25	4月29日	水	暑寒別岳 (しょかんべつだけ) 標高1492m (増毛郡増毛町、雨竜郡雨竜町、北竜町)	4	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前8時頃、暑寒コース登山口から友人3人と山スキーで入山し、同日午後1時20分頃、暑寒別岳山頂に到着、同日午後2時25分頃、8合目付近をスキーで滑走中、バランスを崩して転倒し、左足を負傷、同伴者が110番通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
26	5月8日	金	春香山(はるかやま) 標高907m (小樽市、札幌市南区)	1	1	北海道	女	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前9時頃、桂岡コース登山口から入山し、同日午後0時頃、春香山山頂手前まで登ったが、下山予定時間が近づいていたため、同所から引き返したが、途中で登山道を見失い、同日午後4時20分頃、登山道の東側斜面(標高500メートル付近)で110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
27	5月23日	土	藻岩山(もいわやま) 標高531m (札幌市南区)	2	1	北海道	男	80代	無職	無事	その他 (体調不良)	遭難者は、藻岩山ロープウェイで山頂まで移動し、午後0時頃、知人と2人で登山道を下山したが、下山を開始して間もなく体調不良でその場から動けなくなり、同所を通りかかった登山者が、消防に通報し、救助要請(※消防救助隊員とともに下山)
28	5月25日	月	砥石山(といしやま) 標高826m (札幌市南区、中央区)	2	2	北海道	女	20代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、午後2時頃、小林峠コース登山口から入山し、午後5時頃、砥石山山頂に到着、その後、中ノ沢コースで下山を開始したが、下山途中で日没となり、登山道を外れて道に迷い、同日午後8時15分頃、110番通報し、救助要請(※消防救助隊員が発見、救助)
						北海道	女	20代	会社員	無事	道迷い	
29	5月29日	金	奥手稲山 (おくていねやま) 標高949m (小樽市、札幌市南区)	1	1	北海道	女	40代	その他	無事	道迷い	遭難者は、午前9時頃、星置川コース登山口から入山し、途中から銭函天狗山方向へルート変更したが、標高300メートル付近で登山道を外れて笹藪に入ったところ方向を見失い、同日午後3時10分頃、110番通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリが発見、救助)
30	5月30日	土	積丹岳(しゃこたんだけ) 標高1255m (積丹郡積丹町)	1	1	埼玉県	男	40代	無職	負傷	道迷い	遭難者は、午前10時45分頃、積丹岳登山口(2.5合目)から入山し、同日午後1時頃、積丹岳山頂に到着、昼食後に下山を開始したが、9合目を過ぎた雪渓で登山道を見失い、午後6時45分頃、友人に下山中に道に迷いビバークする旨をメールで連絡、同日午後7時45分頃、同友人が心配して警察(交番)に届出(※道警ヘリが発見、救助)
31	6月6日	土	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	2	1	埼玉県	女	50代	無職	無事	道迷い	遭難者は、夫と2人で午前11時30分頃、旭岳ロープウェイ姿見駅から入山し、同日午後2時30分頃、旭岳山頂に到着したが、当時の天候は濃霧で視界が悪く(3~4メートル)、金庫岩付近を下山中に前方を下山していた夫の姿を見失い、登山道を外れて地獄谷方向の崖斜面に入り込み、氷雪の急斜面で身動きがとれなくなる。同日午後3時15分頃、遭難者の夫が110番通報し、救助要請(※自衛隊員が双眼鏡で遭難者を見、道警ヘリで救助)

32	6月12日	金	上ホロカメットク山 標高1912m (上富良野町)	1	1	北海道	男	20代	その他	無事	その他 (装備不備)	遭難者は、山岳ガイドブックを見て、1時間程度で富良野岳山頂に到着できると判断し、スマートフォンのライトを照明の代用にすることを考えてヘッドランプなどの照明器具装備を持たず、午後6時15分頃、十勝岳温泉登山口から入山したが、1時間くらい経っても富良野岳山頂に到達しないため、途中から引き返したが、日没で周囲が暗くなり、上ホロカ岐付近で行動不能となって同日午後8時20分頃、110番通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が発見、救助)
33	6月12日	金	羅臼岳(らうすだけ) 標高1661m (斜里町、羅臼町)	2	2	スイス	男	30代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、日帰り縦走登山の予定で6月12日午前6時頃、羅臼町側の羅臼コース登山口から入山し、同日午後1時20分頃に羅臼岳山頂に到着、その後、斜里町ウトロ側へ下山していたが、羅臼平付近の雪渓上で踏み跡を見失い道に迷い山中でビバークする。翌朝、ビバーク地点から携帯電話の通話圏内まで登り返して午前7時頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
							女	30代	自営業	無事	道迷い	
34	6月21日	日	平ヶ岳(ひらがだけ) 標高1752m (高根ヶ原) (上川郡上川町、美瑛町)	5	1	北海道	男	40代	会社員	負傷	滑落	遭難者は、午前5時頃、大雪高原温泉登山口から入山し、忠別岳を目指していたが、同日午前7時50分頃、平ヶ岳(高根ヶ原)の東斜面において、斜度約40度の雪渓斜面を約15メートル滑落し、右足及び右肩を負傷(※山岳パトロール中の道警山岳救助隊員が発見、道警ヘリで救助)
35	6月21日	日	恵庭岳(えにわだけ) 標高1320m (千歳市)	1	1	北海道	男	30代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前9時55分頃、ポロピナイ登山口から単独で入山したが、登山途中で登山道を外れ、歩きやすそうに見えた立入禁止の看板が設置されている方へ入り込み道に迷い、同日午前11時35分頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
36	6月21日	日	漁岳(いざりだけ) 標高1318m (恵庭市、千歳市、南区)	3	1	北海道	男	60代	無職	負傷	その他 (落石)	遭難者は、午前7時30分頃、漁岳林道登山口から入山し、林道途中から漁川に入渓して沢登りを開始したが、漁岳山頂手前には残雪があり、途中で引き返し、同日午後0時5分頃、標高1000メートル付近にある高さ約10メートルの岩場を残置ロープを掴みながら降下中、直径約60センチメートルの落石を受けて数メートル滑落し、右腕や腰部等を負傷、同日午後0時15分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
37	6月21日	日	砥石山(といしやま) 標高826m (札幌市南区、中央区)	2	1	北海道	男	60代	公務員	負傷	転倒	遭難者は、午前8時45分頃、中ノ沢コース登山口から入山し、砥石山に登頂、同日午後1時30分頃、T4分岐から中ノ沢コースを約150メートル下った登山道を下山中、木の根または岩の割れ目に左足をとられて転倒し、左足首を負傷、同日午後1時40分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
38	6月23日	火	幌尻岳(ぼろしりだけ) 標高2052m (平取町、新冠町)	9	1	福島県	男	70代	無職	無事	その他 (脱水症)	遭難者は、ガイド登山に参加し、6月22日午後0時頃、奥新冠ダム発電所ゲートから入山し、同日午後5時頃、新冠ポロシリ山荘に到着、同日は山小屋に宿泊。翌6月23日午前5時頃、新冠ポロシリ山荘を出発し、幌尻岳を目指して登山中、同日午前6時頃、水分の補給不足で脱水症となり、右足指先のしびれを発症したことから登山を中止し、同日午後2時頃、同行ガイドがダム事務所の電話を使用して消防に通報し、救助要請(※地元消防隊員が遭難者を救助)
39	6月25日	木	恵庭岳(えにわだけ) 標高1320m (千歳市)	24	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、ツアー登山に参加し、午前9時5分頃、ポロピナイ登山口から入山し、同日午後0時45分頃に恵庭岳8合目の第2見晴台に到着、同日午後1時5分頃に下山を開始したが同日午後1時45分頃、7合目付近の登山道を下山中、岩又は木の根につまずき転倒し、約5メートル滑落して右足首及び頭部を負傷、同日午後2時20分頃、道警本部に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
40	6月26日	金	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	1	1	北海道	男	20代	無職	負傷	道迷い	遭難者は、午前10時頃、平和の滝コース登山口から入山したが、広い岩れきの斜面で山頂方向へのルートを見失ったため、同所から下山を開始したが、登山道から東方向の斜面に入り込んでしまい道に迷い、同日午後2時15分頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
41	6月28日	日	暑寒別岳 (しょかんべつだけ) 標高1492m (増毛郡増毛町、 雨竜郡雨竜町、北竜町)	3	1	北海道	女	70代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前5時10分頃、暑寒コース登山口から入山し、暑寒別岳山頂を目指していたが、同日午前9時10分頃、暑寒別岳7合目にある滝見台付近の岩場斜面を山頂方向へ下っていたところ、足を滑らせてバランスを崩し、その際、左膝をひねって負傷、同日午前10時5分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
42	6月28日	日	塩谷丸山 (しおやまるやま) 標高629m (小樽市)	3	1	北海道	男	70代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前9時頃、JR塩谷駅コース登山口から入山し、登山道の草刈り整備を行いながら山頂に登り、同日午後0時頃に下山を開始したが、同日午後0時35分頃、標高400メートル付近の登山道上で草刈りをしながら下山中、ぬかるんだ登山道で足を滑らせて転倒し、右足を負傷、同日午後0時40分頃、本人が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
43	6月29日	月	恵庭岳(えにわだけ) 標高1320m (千歳市)	1	1	北海道	男	40代	自営業	無事	道迷い	遭難者は、午後0時頃、ポロピナイコース登山口から入山し、同日午後3時30分頃に下山を開始したが、6合目から約10分下山した付近で登山道を見失って登山道の北側にある沢地形に入り込んで道に迷い、同日午後4時30分頃、携帯電話で警察(支笏湖駐在所)に通報し、救助要請(※地元消防救助隊員が発見、救助)

44	7月4日	土	上ホロカメツク山 標高1920m (上富良野町、富良野市、 南富良野町)	8	1	北海道	男	20代	大学生	負傷	転倒	遭難者は、午前7時20分頃、十勝岳温泉登山口から入山し、午前10時頃に上ホロカメツク山に登頂し、その後、上ホロカメツク山山頂直下の東斜面で残雪スキーを始めたが、同日午後0時20分頃、スキー滑走中にバランスを崩して転倒、雪渓斜面を約100メートル滑落して岩に衝突し、頭部及び腰部を負傷、同日午後0時30分頃、付近で事故を目撃した登山者が消防に通報し、救助要請(※地元消防救助隊と道警山岳遭難救助隊が出動、道警ヘリで救助)
45	7月5日	日	藻岩山(もいわやま) 標高531m (札幌市南区)	1	1	北海道	男	50代	自営業	負傷	その他 (体調不良)	遭難者は、午後1時20分頃、慈恵会コース登山口から入山、登山口から約1キロメートル登った地点でめまいがして動けなくなり、同日午後1時35分頃、同所を通りかかった登山者が消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
46	7月7日	火	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	1	1	北海道	男	40代	自営業	無事	道迷い	遭難者は、午前6時発のロープウェイに乗車し、姿見駅から旭岳山頂に向けて入山したが、同日午前7時30分頃、6合目付近まで登ったところ濃霧で視界が悪くなり下山を開始、下山途中で登山道を見失い道に迷い、同日午前9時頃、110番通報し、救助要請(※自然保護官、役場職員が出動して5合目に設置されている鐘を鳴らしていたところ遭難者は自力下山)
47	7月7日	火	トムラウシ山 標高2141m (美瑛町、新得町)	1	1	宮城県	男	60代	無職	死亡	その他 (低体温症)	遭難者は、7月2日に黒岳から入山し、トムラウシ山を目指していたが、7月7日午後6時頃、トムラウシ山の北沼付近で倒れているのを通りがかりの登山者に発見される(※7月8日、防災ヘリが遭難者を収容) 暴風雨の中を登山中、低体温症となり行動不能になったとみられる
48	7月8日	水	利尻山(りしりざん) 標高1721m (利尻富士町、利尻町)	2	1	北海道	女	30代	その他	負傷	転倒	遭難者は、午前5時頃、鴛泊コース登山口から入山し、利尻山に登頂後、同日午後1時50分頃、鴛泊コース6合目付近を下山中、つまづいて転倒し、右足首を負傷、同日午後3時頃、同行者が110番通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊と道警ヘリが出動し救助)
49	7月9日	木	平山(ひらやま) 標高1771m (上川町、遠軽町)	23	1	北海道	女	70代	無職	無事	その他 (体調不良)	遭難者はツアー登山に参加し、午前9時頃、平山登山口から入山したが、同日午後0時頃、平山と比麻良山の分岐点手前で足がつかないため、同所から下山を開始したが、同日午後2時頃、突然意識を失い倒れたため、同行者が胸骨圧迫を行い、110番通報し、救助要請(※遭難者は意識回復後、登山口まで自力下山)
50	7月9日	金	幌尻岳(ぼろしりだけ) 標高2052m (平取町、新冠町)	5	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、7月9日午後1時頃、額平川ルートから入山したが、同日午後5時頃、幌尻山荘の手前約1キロメートル地点を渡渉中、浮き石でバランスを崩して転倒し、右膝を負傷、その後、自力歩行で幌尻山荘に到着し、同所に宿泊したが、右膝の痛みが増して歩行困難となり、7月10日午前4時頃、幌尻山荘管理人が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
51	7月10日	金	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	1	1	京都府	男	40代	会社員	無事	その他 (脱水症)	遭難者は、9合目の避難小屋に宿泊予定で午前9時頃、真狩コース登山口から入山したが、同日午後4時頃、7合目付近を登山中、脱水症で両足がつかなくなり、同日午後5時50分頃、消防に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
52	7月11日	土	暑寒別岳 (しょかんべつだけ) 標高1492m (増毛郡増毛町、 雨竜郡雨竜町、北竜町)	2	1	北海道	女	60代	その他	無事	その他 (脱水症)	遭難者は、午前5時15分頃、暑寒コース登山口から夫婦で入山したが、同日午前10時25分頃、9合目付近で脱水症による体調不調となり下山を開始したが、午後2時40分頃、5合目付近で消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
53	7月12日	日	恵庭岳(えにわだけ) 標高1320m (千歳市)	2	1	北海道	女	50代	その他	負傷	道迷い	遭難者は、午前9時20分頃、夫婦でポロピナイコース登山口から入山、同日午後1時5分頃、9合目で夫と別行動をとり下山を開始したが、下山途中に登山道北側の沢筋に入り込んで道に迷い、同日午後3時50分頃、消防に通報し、救助要請(※防災ヘリが発見、救助)
54	7月12日	日	ニペソツ山 標高2013m (上士幌町、新得町)	1	1	茨城県	男	40代	会社員	無事	その他 (脱水症)	遭難者は、午前7時頃、十六ノ沢(杉沢)コース登山口から入山、同日午後2時20分頃、ニペソツ山に登頂し、下山を開始したが、同日午後6時45分頃、天狗コルから約1キロメートル上方において脱水症で行動不能となり、110番通報し、救助要請(※翌朝、他登山者と一緒に下山中、道警山岳遭難救助隊員が遭難者を発見、救助)
55	7月19日	日	狩場山(かりばやま) 標高1519m (島牧村、せたな町)	2	1	北海道	男	30代	その他	負傷	滑落	遭難者は、午前10時頃、千走川南東面直登沢に入渓して沢登り中、同日午後0時10分頃、標高1,020メートル付近の岩場を登っていたところ、岩が崩れて約5メートル滑落し、頭部等を負傷、同日午後0時40分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※地元消防救助隊と道警山岳遭難救助隊が遭難者を搬送、救助)
56	7月28日	火	富良野岳(ふらのだけ) 標高1912m (富良野市、上富良野町)	1	1	シンガポール	女	30代	不詳	無事	道迷い	遭難者は、午前8時頃、原始ヶ原コース登山口から入山し、林間コースで原始ヶ原まで散策した後、昇竜の滝から滝コースで下山を開始したが、錦糸の滝付近で道に迷ったため来た道を引き返し、翌日午前2時頃、赤岩の滝付近でビバーク、同午前4時30分頃、周囲が明るくなるのを待って行動を開始し、同午前7時30分頃、原始ヶ原コース登山口に自力下山

57	7月28日	火	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	2	1	千葉県	男	60代	無職	負傷	疲労	遭難者は、午前8時頃、ロープウェイ姿見駅から2人で入山し、姿見周遊コース第3展望台まで登ったが、トイレのため遭難者のみロープウェイ姿見駅に一旦引き返した。その後、同行者に合流するため再度、姿見周遊コース第3展望台に向かったが、途中で道に迷い、旭岳7合目付近で疲労のため動けなくなる。他の登山者が疲労した遭難者を発見してロープウェイ姿見駅の職員に通報(※旭岳パークレンジャーが遭難者を救助)
58	7月30日	木	幌尻岳(ぼろしりだけ) 標高2052m (平取町、新冠町)	4	1	千葉県	男	60代	会社員	負傷	滑落	遭難者は、7月29日に額平川コースから入山して幌尻山荘に宿泊、翌30日に幌尻岳に登頂し、同日午後1時55分頃、額平川の四ノ沢付近を下山中、川岸の岩場を移動中に足を滑らせて高さ2メートルから滑落し、頭部を負傷、その後、同行者が救助要請のため下山し、同日午後4時20分頃、シャトルバスの運転手を介して消防に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
59	7月30日	木	伏美岳(ふしみだけ) 標高1792m (芽室町、帯広市)	1	1	北海道	男	40代	会社員	無事	その他 (脱水症)	遭難者は、7月29日午前7時頃に伏美岳登山口から入山し、ピパイロ岳方向へ縦走して山中で1泊、翌30日午前7時頃に下山を開始したが、伏美岳の西側標高1,600メートル付近で脱水症のため行動不能となり、同日午後3時15分頃、消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
60	8月2日	日	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	2	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前5時頃に京極コース登山口から入山し、同日午前9時頃に羊蹄山に登頂、同日午前9時30分頃、下山開始直後、山頂付近で足がもつれて転倒し、左足を負傷、同日午前11時20分頃、110番通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
61	8月2日	日	化雲岳(かうんだけ) 標高1954m ※クワウンナイ川 (美瑛町、新得町)	3	1	千葉県	女	60代	無職	死亡	転倒	遭難者は、午前6時30分頃、羽衣トンネル東側駐車帯からクワウンナイ川に入渓し、同日午前10時10分頃、入渓口から約2キロメートル上流(川幅約10メートル、水深約60センチメートル)を渡渉中、川の中でバランスを崩して転倒し、約200メートル下流に流され、同行者が救助したが心肺停止状態のため、同行者が下山し、同日午後1時頃、警察に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助～溺死)
62	8月3日	月	ニセイカウシュツペ山 標高1879m (上川町)	2	1	岡山県	女	60代	無職	負傷	道迷い	遭難者は、午前6時35分頃、中越コース登山口から入山し、同日午前10時10分頃、ニセイカウシュツペ山に登頂、その後、単独で下山を開始したが、下山方向を間違えて平山方向へ進行し、ニセイカウシュツペ山東側の沢地形に入り込む。同日午前10時30分頃、遭難者の姿が見えなくなったことから同行者が110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
63	8月4日	火	幌尻岳(ぼろしりだけ) 標高2052m (平取町、新冠町)	2	1	埼玉県	女	50代	会社役員	負傷	滑落	遭難者は、8月3日に奥新冠ゲートから入山し、新冠ポロシリ山荘に宿泊、8月4日午前5時30分頃、新冠ポロシリ山荘を出発して幌尻岳を目指したが、同日午前6時30分頃、濡れた登山道の斜面で足を滑らせて約1メートル滑落して左足首を負傷、同日午前9時25分頃、通りがかりの登山者が幌尻岳山頂まで登り、携帯電話で警察に通報し、救助要請(※遭難者は新冠ポロシリ山荘まで自力下山し、地元消防が救助)
64	8月4日	火	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	3	1	北海道	男	10代	中学生	負傷	その他 (蜂刺)	遭難者は、午前11時15分頃、北尾根コース登山口から入山したが、同日午後1時30分頃、左腕を蜂にさされて腫れ上がってきたため、同日午後2時10分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
65	8月5日	水	雄阿寒岳 (おあかんだけ) 標高1371m (釧路市)	1	1	広島県	男	60代	無職	無事	その他 (装備不備)	遭難者は、午前7時30分頃、阿寒湖畔コース登山口から入山し、写真を撮りながら登り、同日午後2時25分頃、雄阿寒岳に登頂、同日午後2時30分頃に下山を開始したが、同日午後6時10分頃、雄阿寒岳1合目付近まで下ったところで周囲が暗くなり、照明器具を携帯していなかったため下山することができなくなり、同日午後7時15分頃、110番通報し、救助要請(※駐在所員及び消防隊員が遭難者を発見、救助)
66	8月7日	金	大平山(おびらやま) 標高1191m (島牧郡島牧村)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前7時30分頃、泊川コース登山口から入山し、大平山に登頂、その後、同日午前10時30分頃に下山を開始したが、標高1100メートル付近の笹やぶが生い茂った登山道を下山中に登山道を外れて道に迷い、同日午後0時47分頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリが発見、救助)
67	8月7日	金	大千軒岳 (だいせんげんだけ) 標高1072m (松前町、福島町、 上ノ国町)	2	2	北海道	男	40代	公務員	無事	疲労	遭難者2人は、午前7時頃、知内川コース登山口から入山し、同日午後1時頃、大千軒岳9合目(千軒平)に到着、同所で昼食、休憩後、下山を開始したが、60代女性が足の疲労で行動が遅れ、同日午後7時30分頃、2合目付近の広い川原で日没となり同所でビバーク、(同日午後5時25分頃、遭難者2人が帰宅しないことから家族が心配して役場を介して110番通報し、救助要請(※翌8月8日午前6時頃、地上捜索隊が遭難者2人を発見、救助)
						北海道	女	60代	その他	無事	疲労	
68	8月10日	月	イドンナップ岳 標高1752m (新冠町、新ひだか町)	1	1	神奈川県	男	40代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、8月9日午前5時30分頃、イドンナップ岳登山口から入山し、同日午後1時30分頃、イドンナップ岳に登頂、その後、下山を開始したが、同日午後2時40分頃、新冠富士山頂付近において濃霧のため下山方向を見失い道に迷い、同所付近でビバーク、翌朝も濃霧による視界不良で下山方向が分からず、翌8月10日午前5時50分頃、消防に通報し、救助要請(※消防隊員及び道警山岳遭難救助隊が遭難者を発見、救助)

69	8月10日	月	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	7	1	北海道	男	60代	その他	負傷	転倒	遭難者は、8月9日午後2時頃、真狩コース登山コースから入山し、9合目の避難小屋に宿泊、翌8月10日午前8時頃に下山を開始したが7合目付近(標高1,560メートル付近)を下山中、石につまずいて転倒し、左膝及び左足首を負傷、同日午前9時40分頃、消防に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
70	8月11日	火	富良野岳(ふらのだけ) 標高1912m (富良野市、上富良野町)	34	34	北海道	男	40代	その他	無事	その他(増水)	遭難者34人(大人14人、大学生3人、中学生17人)は、児童通所施設における夏休みを利用した登山のため、午前9時10分頃、十勝岳温泉登山口から富良野岳を目指して入山したが、正午前に雷雨となり、富良野岳山頂の約1キロメートル手前から引き返して下山を開始したが、大雨の影響で安政火口分岐の登山道を通れる川(ヌッカクシ富良野川)が増水し、同所から下山することができず立ち往生し、同日午後1時40分頃、警察に通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊、消防救助隊員等が出動し、遭難者を全員救助)
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	男	20代	大学生	無事	その他(増水)	
						北海道	女	50代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	40代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	40代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	30代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	30代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	20代	その他	無事	その他(増水)	
						北海道	女	20代	大学生	無事	その他(増水)	
						北海道	女	10代	大学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
						北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)	
北海道	男	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
北海道	女	10代	中学生	無事	その他(増水)							
71	8月22日	土	ピパイロ岳 標高1917m (芽室町、帯広市)	4	4	北海道	男	20代	大学生	無事	その他	遭難者4人は、8月19日から22日(予備日23、24日)の予定でピパイロ川八ノ沢出合いから入渓し、ピパイロ岳北面直登沢を登る計画でいたが、ピパイロ川が増水していたため、途中から尾根伝いにやぶ漕ぎをしながら登っていたが、8月22日午後2時頃、ピパイロ岳北東斜面(標高1880メートル付近)において、20代女性の遭難者が低体温症で行動不能となり、同日午後2時10分頃、警察に通報し、救助要請(※翌8月23日、道警山岳遭難救助隊が遭難者パーティーを発見、道警ヘリで救助)
北海道	男	20代	大学生	無事	その他							
北海道	男	10代	大学生	無事	その他							
北海道	女	20代	大学生	負傷	その他(低体温症)							
72	8月22日	土	戸蔭別岳 (とったべつだけ) 標高1959m (平取町、新冠町、帯広市)	2	1	北海道	男	50代	団体職員	負傷	その他(熱傷)	遭難者は、8月22日午前6時20分頃、戸蔭別川八ノ沢出合いから入渓し、幌尻岳を目指していたが、同日午後7時10分頃、戸蔭別岳北東斜面(標高1,800メートル付近)でテントを設営し、テント内でガスコンロを使用してお湯を沸かしていたところ、ガスコンロが倒れて遭難者の右手及び両足に熱湯がかかり熱傷(Ⅱ度)を負い、同日午後7時45分頃、知人を介して警察に通報し、救助要請(※翌8月23日早朝、道警ヘリで救助)

73	8月23日	日	冷水岳(ひやみずだけ) 標高1175m (八雲町)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前5時頃、冷水岳の南南西尾根コース登山口から入山したが、同日午前8時頃、標高938メートルの屏風岳付近で疲労により冷水岳登頂を断念し、同所から下山を開始したが、下山開始から約20分の地点で登山道が笹やぶで覆われていたため道に迷い、同日午前11時頃、家族を介して110番通報し、救助要請(※翌8月24日午前、道警山岳遭難救助隊及び地元消防隊員等が遭難者を発見、救助)
74	8月25日	火	幌尻岳(ぼろしりだけ) 標高2052m (平取町、新冠町)	4	1	神奈川	男	70代	無職	負傷	滑落	遭難者は、午前5時50分頃、新冠コースの新冠ポロシリ山荘から幌尻岳に入山し、同日午後0時頃、幌尻岳山頂から下山を開始したが、同日0時50分頃、水場のある標高1,600メートル付近のガレ場を下山中、足を滑らせて約5メートル滑落し、右足及び頭部を負傷、同日午後1時頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
75	8月30日	日	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	7	1	北海道	男	30代	その他	負傷	転倒	遭難者は、午前10時30分頃、ロープウェイ姿見駅から入山し、同日午後1時15分頃、旭岳山頂から下山を開始したが、同日午後2時頃、旭岳の7合目と8合目の間(標高1,900メートル付近)を下山中、足を滑らせて転倒し、右足首を負傷、同日午後2時15分頃、同行者が警察に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
76	8月31日	月	利尻山(りしりざん) 標高1721m (利尻富士町、利尻町)	2	1	大阪府	男	50代	会社員	負傷	転倒	遭難者は、午前5時30分頃、鴛泊コース登山口から入山して利尻山に登り、同日午後3時頃、9合目付近を下山中に足を滑らせて転倒し、左足を負傷、同日午後3時10分頃、利尻島内の宿泊先に携帯電話で救助要請(※道警ヘリで救助)
77	9月4日	金	斜里岳(しゃりだけ) 標高1547m (斜里町、清里町、標津町)	1	1	東京都	男	60代	無職	無事	その他 (増水)	遭難者は、午前8時20分頃、清里コース登山口(清岳荘)から入山し、旧道コースを登り斜里岳山頂を目指したが、馬の背(稜線)まで登ったところで風が強くなり、雨が降ってきたため、同所から下山を開始、上二股から新道コースで下り、同日午後3時頃、下二股と登山口の間付近まで下山したところ、一の沢川が増水しており下山できない状態だったため、消防に通報し、救助要請(※消防救助隊及び道警山岳遭難救助隊が出動し、遭難者を発見、救助)
78	9月5日	土	忠別岳(ちゅうべつだけ) 標高1962m (上川町、美瑛町)	1	1	京都府	男	50代	会社員	無事	疲労	遭難者は銀泉台から入山し、忠別岳避難小屋に滞在していたが、外気温が0度近くまで低下したことで衰弱し、9月5日午前9時頃、衛星携帯電話で救助要請(※道警ヘリで救助)
79	9月5日	土	赤岳(あかだけ) 標高2078m (上川町)	3	1	北海道	男	40代	教員	負傷	転倒	遭難者は、仲間2人と1泊2日の日程で午前10時頃、銀泉台登山口から入山し、白雲岳避難小屋を目指していたが、同日午後0時頃、赤岳第三雪渓付近で降雨が強くなり、登山を中止して下山を開始したが、同日午後1時頃、標高1,900メートル付近の登山道を下山中、浮き石に足をのせた際にバランスを崩して転倒し、左足首を負傷、同日午後2時20分頃、同行者が警察に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
80	9月8日	火	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	2	1	北海道	女	70代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前11時頃、旭岳温泉コース登山口から入山したが、同日午後1時30分頃、3合目付近(標高1,440メートル付近)を登山中、石の上で足を滑らせて転倒し、右足首を負傷、負傷直後に同所を通りかかった登山者が遭難者を発見して110番通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
81	9月12日	土	武華山(むかやま) 標高1759m (上川町、北見市、遠軽町)	13	1	北海道	女	70代	無職	無事	その他 (体調不良)	遭難者は、ガイドツアーに参加し、午前4時55分頃、東尾根コース登山口から入山したが、同日午前6時30分頃、めまいや嘔吐等の体調不良を訴えて行動不能となり、同日午前7時頃、同行者が110番通報し、救助要請(※消防救助隊員が救助)
82	9月15日	火	羅臼岳(らうすだけ) 標高1661m (斜里町、羅臼町)	2	2	千葉県	男	70代	無職	無事	道迷い	遭難者2人は、午前7時30分頃、岩尾別コース登山口(斜里町)から入山し、同日午後0時30分頃、羅臼平に到着、同日午後1時頃に羅臼平を出発して羅臼コース(羅臼町)で下山を開始したが、初めて下るコースで日没が近づき周囲が暗くなってきたため道に迷いそうで不安となり、同日午後5時35分頃、羅臼コースの泊場を過ぎた付近で110番通報し、救助要請(※救助要請後、同所を通りかかった一般登山者と接触し、翌16日午前0時40分頃、羅臼コース登山口に自力下山)
83	9月20日	日	赤岳(あかだけ) 標高2078m (上川町)	1	1	福岡県	男	70代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前6時40分頃、銀泉台の赤岳登山口から入山し、赤岳を目指したが、入山開始から約20分経過したところで立ちくらみにより自己転倒し、顔面を負傷、同所を通りかかった登山者が登山口にいた自然保護巡視員に救助要請(※自然保護巡視員が遭難者を救助)
84	9月26日	土	風不死岳(ふっぶしだけ) 標高1103m (千歳市)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前10時30分頃、千歳市モラップ付近の楓沢(涸れ沢)から沢伝いに入山し、樽前山ヒュッテを目指したが、沢筋を抜けた後、岩に書かれたペンキ標示を頼りに進んでいたところ、けもの道に入り込み、日没と濃霧のため道に迷い、同日午後5時50分頃、110番通報し、救助要請(※警察署員が遭難者を発見、救助)



85	9月26日	土	神威岳(かむいだけ) 標高1600m (浦河町、大樹町)	1	1	北海道	男	30代	自営業	無事	道迷い	遭難者は、9月25日午前6時頃、日帰り予定で神威山荘から神威岳を目指して入山したが、シュオマナイ川上流から神威岳に至る尾根の取り付きが分からず、やぶ漕ぎをしながら神威岳方向の尾根を登ったが、濃霧のため神威岳方向を見失い、ニシュオマナイ岳方向の稜線に迷い込み、山中でビバーク。入山2日目の夕方、本人が110番通報し、「神威岳山頂付近の稜線上で濃霧のため下山方向がわからない」旨の救助要請、道警山岳遭難救助隊、陸上自衛隊、地元山岳会等が遭難者の捜索を実施していたところ、入山から4日目(9月28日)の午前中、遭難者本人が神威山荘に自力下山
86	10月3日	土	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	1	北海道	女	50代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前9時40分頃、平和の滝コース登山口から入山、同日午前11時40分頃、手稲山山頂に到着、同日午後0時頃下山を開始したが、同日午後0時30分頃、標高800メートル付近のガレ場を下山中、岩に足をとられてバランスを崩して転倒し、顔面を負傷、同日午後1時20分頃、消防に通報し、救助要請(※札幌市消防ヘリで救助)
87	10月3日	土	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	1	1	北海道	男	70代	団体職員	無事	道迷い	遭難者は、溪流釣りのため、午前10時頃、旭岳山麓の国設旭岳青少年キャンプ場付近から熊の沢川に入渓、同日午後1時頃、溪流釣りを終えて来た道に戻ろうとしたが山中で道に迷い、同日午後4時15分頃、110番通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊、消防救助隊、陸上自衛隊が出動し、10月4日午前11時頃、山中で遭難者を発見、救助)
88	10月4日	日	十勝岳(とちだけ) 標高2077m (美瑛町、上富良野町、新得町)	1	1	北海道	男	40代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、午前7時40分頃、望岳台から入山して十勝岳を目指したが、同日午前10時頃、標高1,900メートル付近まで登ったところ天候が雪となり、強風で視界が100メートル以下となったため、同所から下山を開始したが、標高1,850メートル付近を下山中、凍結した斜面で足を滑らせて約10メートル滑落し、その後、登山道を見失い、同日午前10時50分頃、110番通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が出動し、遭難者を発見、救助)
89	10月10日	土	砥石山 標高827m (札幌市中央区、南区)	2	1	北海道	男	30代	団体職員	負傷	転倒	遭難者は、幼児(3歳)と2人で午前9時頃、中ノ沢コース登山口から入山、同日午前11時頃に砥石山山頂に到着、同日午前11時30分頃から男児を背負い下山を開始したが、同日午後0時頃、登山コース上にある通称「三角山(標高705メートル)」の直下を下山中、木の根につまずき転倒し、左肩を負傷、その後、T4分岐から約250メートル先まで進んだが、肩の痛みが激しく、同日午後1時15分頃、110番通報し、救助要請(※消防救助隊が遭難者を救助)
90	10月15日	木	八剣山(観音岩山) (はっけんざん) 標高498m (札幌市南区)	2	2	北海道	男	50代	会社員	負傷	滑落	遭難者親子は、午後2時20分頃、南口登山口から入山、同日午後3時10分頃、八剣山山頂に到着、同日午後3時25分頃、下山を開始したが、同日午後3時40分頃、9合目付近を下山中、前を歩いていた男児が転びそうになったため、父親が助けようとしたところバランスを崩し、二人とも斜面を約5メートル滑落し、父親が右側頭部を負傷、同日午後3時45分頃、110番通報し、救助要請(※警察、消防の地上捜索隊が出動し、遭難者2人を発見、その後、道警ヘリで救助)
						北海道	男	10代未満	未就学	無事	滑落	
91	10月17日	土	ニペソツ山 標高2013m (上士幌町、新得町)	1	1	北海道	男	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、午前5時50分頃、十六ノ沢(杉沢)コース登山口から入山、同日午前10時10分頃、山頂に向けて登山中、前天狗(標高1,870メートル付近)で風景写真を撮影しようとした際に足をつまずき転倒し、左足を負傷、同日午前11時5分頃、同所を通りかかった登山者が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリで救助)
92	10月17日	土	十勝岳(とちだけ) 標高2077m (美瑛町、上富良野町、新得町)	5	1	北海道	男	10代	高校生	負傷	その他 (尻滑り中 岩に衝突)	遭難者は、午前7時10分頃、望岳台登山口から入山、同日午前10時10分頃、十勝岳山頂に到着、その後、積雪斜面を尻滑りで下山していたところ、同日午前11時00分頃、8合目付近(標高1,840メートル)で斜面上の岩に臀部を強打し、臀部を負傷して歩行不能となり、同日午前11時15分頃、消防に通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)
93	10月17日	土	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川郡上川町)	2	1	北海道	男	20代	会社員	負傷	道迷い	遭難者は、午前11時30分頃、黒岳7合目(リフト終点駅)から入山、同日午後1時00分頃、黒岳山頂に到着、同日午後1時30分頃に下山を開始したが、山頂付近から積雪斜面を尻滑りで下っていたところ、急斜面で制御不能となり、登山道東側の沢地形に滑り落ち、同行者とはぐれて下山方向を見失い道に迷う、同日午後3時25分頃、同行者が警察署に電話連絡し、救助要請(※道警ヘリが遭難者を発見、救助)
94	10月19日	月	函館山(はこだてやま) 標高334m (函館市)	1	1	北海道	女	40代	無職	無事	道迷い	遭難者は、午前11時頃、観音コース登山口(船見町)から入山、同日午後、函館山山頂に到着、その後、来た道を引き返し、赤いテープ標識を目印にしながら下山していたが、同日午後3時30分頃、標高130メートル付近で登山道を見失って道に迷い、函館山管理事務所(はこだて)に電話連絡し、救助要請(※警察、消防等の地上捜索隊が出動し、遭難者を発見、救助)

95	12月20日	日	稀府岳(まれつぶだけ) 標高702m (伊達市)	7	1	北海道	男	70代	無職	死亡	病気 (循環器 系疾患)	遭難者は、知人6人と午前10時頃から稀府岳に入山したが、同日午前11時頃、3合目付近を登山中、急に胸の痛みを訴え行動不能となり、同日午前11時47分頃、同行者が110番通報し、救助要請(※防災ヘリが出動し病院へ搬送したが循環器系疾患で死亡)
96	12月20日	日	無意根山(むいねやま) 標高1464m (札幌市南区、 虻田郡京極町)	1	1	北海道	男	50代	その他	無事	道迷い	遭難者は、午前7時頃、元山(豊羽鉱山)コース登山口から日帰り予定で山スキーを履き入山したが、同日午後1時頃、千尺高地付近において降雪による視界不良で下山方向を見失い、同日午後3時頃、家族に「道に迷った」旨を連絡、その後、遭難者の安否を心配した家族が同日午後4時50分頃、110番通報し、救助要請(※同日夜、道警山岳遭難救助隊員が遭難者を発見、救助)
97	12月20日	日	長峰岳(ながみねだけ) 標高1080m (余市郡赤井川村)	2	1	東京都	男	40代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、友人と2人でキロロスノーワールドスキー場を訪れ、午後1時頃からスノーボードをしていたが、新雪を滑るため朝里ゴンドラ山頂駅付近から朝里沢川方向の斜面(スキー場管理区域外)に入り込んだが、同日午後4時頃、スノーボードで滑走中に道に迷ったため、友人に携帯電話で連絡(※同日夜、スキーパトロールが遭難者を発見、救助)
98	12月21日	月	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川郡上川町)	5	1	山梨県	女	40代	その他	死亡	転落	遭難者は、黒岳北壁を登るため、12月20日午前10時30分頃、5人パーティーで入山し、同日は黒岳7合目付近で宿泊、翌21日午前6時30分頃に7合目を出発し、黒岳北壁の登はんを実施、同日午後2時30分頃、黒岳に登頂したが、その直後、山頂付近の岩壁から転落して行方不明となり、同日午後2時50分頃、同行者が警察に通報し、救助要請(※12月22日午前、雪に埋もれている遭難者を関係者が発見、道警ヘリで収容)
99	12月27日	日	貫気別山 (ぬきべつやま) 標高994m (虻田郡留寿都村)	2	2	マレーシア	男	50代	その他	無事	道迷い	遭難者は、午前9時頃から数名のグループに分かれてルスツリゾートスキー場のマウントイゾラコースでスキーをしていたが、同日午後2時30分頃、貫気別山の南側斜面(スキー場管理区域外)に入り込み、悪天候による視界不良で道に迷ったため、仲間に携帯電話で連絡(※同日午後5時5分頃、貫気別山南側の林道上でスキーパトロールが遭難者を発見、救助)
						オーストラリア	男	40代	その他	無事	道迷い	
100	12月31日	木	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	1	1	北海道	男	10代	中学生	無事	道迷い	遭難者は、午後0時頃、サップロテイエスキー場(ハイランドゾーン)の山頂付近から手稲山南東側斜面のネイチャーコース(スキー場コース外)をスノーボードで滑走中、突然目の前に現れたスノーボーダーとの接触を避けようとして南側斜面に転がり落ち、その後、沢伝いに下山したが、スキー場方向が分からず、スキー場コースに戻ることができなくなったため、同日午後1時頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリで救助)